事務事業実績測定調書

事務事業名称	避難行動要支援者名簿作成・管理事務								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち							
	施策目標	2.災害時に、迅速・的確に対応できるまち							
	実行計画名								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2017(H29)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	災害対策基本法、避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	災害時に自力で避難することが困難な市民(要介護3～5の認定者、身体障害者手帳1・2級の交付を受けている者等)
	サブターゲット	
	ターゲットが抱える課題	災害時に自力で避難することが困難なため、支援が必要である。
	ターゲットが抱える課題	
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	災害により避難が必要な場合に、地域住民や行政から迅速な支援が受けられる。	
事業概要	平成25年に災害対策基本法が改正されたことを受け国から示された「避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針」により、市町村に「避難行動要支援者名簿」の策定が義務付けられた。 高齢者、障害者(児)等のうち、災害が発生、または災害が発生する恐れがある場合に、自ら避難することが困難な人であって、円滑かつ迅速な避難のために、特に支援を要する人(避難行動要支援者)の氏名、居所、連絡先等の情報を事前に登録する名簿を作成するとともに、当該名簿を民生委員や自主防災組織等(避難支援等関係者)に配付し、災害時の避難支援体制づくりに役立てるものである。	

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
ロジックモデル	災害時の避難に支援が必要な市民の不安が解消される。	避難行動要支援者に係る情報を、地域住民や行政が共有できる。	避難行動要支援者名簿を作成・管理する。

指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
指標説明	名簿掲載人数				名簿の配布先の数 【配布先:①枚方・交野警察署②枚方寝屋川消防組合③枚方市社会福祉協議会④自主防災組織 】				名簿の更新頻度			
			単位	人			単位	箇所			単位	回
指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標(見込み)		3,000	3,000	3,000		4	4	4	1	1	1	1
実績	12,226	17,577			4	4			1	0		
達成度	586%				100%				0%			
分析	高齢者人口増加にともない、搭載車も増加した				配布先について変更はなかった				令和3年度中に行う予定だった更新は、住民基本台帳データとの連記確認に時間がかかり、令和4年度にずれ込んだ			

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	0.29
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,924	1,914	2,279		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	0	0	0		
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	0	0		
		人件費計	1,924	1,914	2,279		
	物件費計		614	5,077	0	677	―
	歳出計		2,538	6,991	2,279		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		22,700	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		22,700	0	0	0	
一般財源			▲ 20,162	5,077	0	677	

5. 総括的分析

総括的分析	令和4年3月末現在、避難行動要支援者名簿登載者は17,577名であり、そのうち4,709名については同意を得た。

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	住民基本台帳とのデータ連携について、関係部署とともに不具合解消に向けた原因究明を図り、データ連携の検証が必要である。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	総合福祉センター維持管理事業								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部		課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち							
	施策目標	5.快適で暮らしやすい環境を備えたまち							
	実行計画名								

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1976(S51)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市総合福祉センター条例及び同施行規則				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	総合福祉センター利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	総合福祉センターの利用者が、安全・快適に利用できるよう必要な施設保全や保守点検等を実施する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	総合福祉センター利用者が、施設を安心して安全快適に利用することができ、心身の健康と福祉の増進を図っている。				
事業概要	名　称　:枚方市総合福祉センター 所在地:枚方市津田東町2丁目26番1号(老人福祉センター)　、枚方市中宮山戸町12番15号(老人作業所) 開設年月:昭和51年4月24日(老人作業所は昭和53年4月1日) 送迎バス:枚方市駅等からセンターまで無料運行。決められた停留所で乗車可能。 施設内容 老人福祉センター:大広間、和室(3室)、会議室(5室)、浴室、足湯、調理室、対局室、機能回復訓練室、講座室、ビリヤード室、茶室、バンパー場、体育室、グラウンド 老人作業所(1室) 事業内容 老人の生きがいと健康増進及び市民各層との交流を図るため以下の事業を実施している。 1. 部屋、体育室の貸し出し、2. グラウンドゴルフ講習会・料理教室など世代間交流事業、3. 老人趣味の講座・老人いきいき講座 4. 機関誌の発行、5. 健康・生活相談、6. 風呂、7. 送迎バス運行等				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル		総合福祉センターが適正に維持管理されている。	必要な保守点検等を実施する。

指標設定	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明		修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】	保守点検や修繕、補修工事の件数。
単位		%	件
指標種類		減少することが良いとされる指標	減少することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）					100以内	100以内	100以内	100以内	34	34	34	34
実績					4.74	0			31	35		
達成度					0%				97%			
分析					令和3年度は多額の修繕料が必要となるような故障等は発生しなかった。				概ね想定通りであった。 (点検や検査の回数については年間で複数回行うものも1回と数えている)			

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	6,414	3,190	3,143		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	0	0	0		
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	0	0		
		人件費計	6,414	3,190	3,143		
	物件費計		94,380	92,408	92,099	92,603	100%
	歳出計		100,794	95,598	95,242		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		3,682	2,608	3,289	3,670	
	市債		0	0	0	0	
	その他		67	0	490	0	
	歳入計		3,749	3,203	3,779	3,670	
一般財源			97,045	89,205	91,720	88,933	

5. 総括的分析

総括的分析	30万円を超える修繕が必要となるような事項が令和3年度は発生しなかった。30万円以内の修繕については、指定管理者が行った。（令和2年度から指定管理料のうち年間120万円を修繕費とし、使わなかった分については精算し返してもらうことになっている） 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月27日～6月21日は施設利用を中止した。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、指定管理者による運営が適切に行われるよう、施設管理運営状況の確認を行うとともに、利用者が安全に施設を利用できるよう、必要な施設保全や保守点検等を実施していく。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	終活支援事業								
測定年度	2021(R3)年度			部	健康福祉部		課	長寿・介護保険課	
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	8.安心して適切な医療が受けられるまち							
	実行計画名								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	R4年度(2022年度)	年度	～		年度まで
根拠法令等	介護保険法、地域支援事業実施要綱(国)				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	自らの老後の暮らし方に関心や心配がある高齢者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	自らが希望する老後を送るために家族や友人たちと希望や心配事について話し合う機会がない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	住み慣れた地域で自らが望む暮らしを送れるよう、希望や心配事を家族や友人たちと話し合えることができる。				
事業概要	在宅医療・介護連携推進事業と連携しながら、高齢者一人ひとりが自らの望む老後を送れるよう支援していく。 ・エンディングノートの配布及び啓発事業。 ・人生会議まるわかりガイドの配布及び人生会議の啓発事業。 ・アンケート調査などにより高齢者の終活に対するニーズを把握し、必要な支援を行っていく。				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
ロジックモデル	終活に対する意識が向上し、住み慣れた地域で自らが望む暮らしを送れるようエンディングノートを活用したり、家族会議で家族や友人たちと老後について話し合う機会ができる。	終活について興味を持ち、終活に関する講演会等に参加する。	エンディングノート・人生会議まるわかりガイドを配布し、終活支援等の周知を行う。

指標設定

	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
指標説明	講演会等への参加者アンケートで、家族会議等でエンディングノートや人生会議まるわかりガイドを活用し、「役に立った」「良かった」と回答した割合。				終活に関する講演会等への参加人数。				エンディングノート・人生会議まるわかりガイドの配布部数			
			単位	%			単位	人			単位	回
指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標(見込み)	－	－	50	55	－	100	120	140	－	1,100	1,200	1,300
実績	－	－			－	397			600	5,100		
達成度					397%				464%			
分析	(アンケート調査なし)				地域包括支援センターにて小規模講座を開催したこと等により目標値を上回る実績となった。				人生会議まるわかりガイドを令和3年1月に新規発行し、地域包括支援センターでの講座や周知に伴う配付、また人生会議の日に合わせた広報紙への掲載、市役所別館1階玄関・市内医療機関でのポスター掲示、市内図書館での特設コーナー設置等の啓発事業の影響等により、配付数の大幅な増加に繋がった。			

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	0.25
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	－	－	1,964		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	－	－	0		
		特別職非常勤	－	－	0		
		附属機関委員	－	－	0		
		人件費計	－	－	1,964		
	物件費計		－	－	0	0	－
	歳出計		－	－	1,964		
歳入	国庫支出金		－	－	0	0	
	府支出金		－	－	0	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		－	－	0	0	
	市債		－	－	0	0	
	その他		－	－	0	0	
	歳入計		－	－	0	0	
一般財源			－	－	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを送れるよう、市民及び医療と介護の専門職向けの普及啓発を引き続き行い、話し合える環境づくりを継続的に取り組むことが必要。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き高齢者のニーズの把握に努めるとともに、普及啓発を行っていく。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	介護認定事務								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2000(H12)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	介護保険法、介護保険法施行令、介護保険法施行規則、枚方市介護保険条例、枚方市介護保険に関する規則				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称	枚方市介護認定審査会				
事業対象	メインターゲット	介護保険サービスを必要とする要介護者			
	サブターゲット	介護保険サービスを必要とする要介護者家族			
	ターゲットが抱える課題	申請日から介護保険サービスは利用できるが、認定結果が通知されるまで認定に応じた利用限度額がわからない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	介護保険サービスが必要な時に利用できるよう、適正な要支援・要介護認定を法令で定められた期限内(30日以内)に行う。				
事業概要	1、申請受付　2、認定調査(新規申請・更新申請・区分変更申請)　3、認定調査依頼　4、主治医意見書作成依頼5、調査票・意見書の点検・データ入力　6、介護認定審査会開催　7、認定結果通知				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル		法令で定められた期限内(30日以内)に、公正・公平な要支援・要介護認定を行う。	枚方市介護認定審査会を開催する。

指標設定		アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明						期限内に認定を行えた割合 【算出式:期限内に認定を行えた件数/認定申請受付件数×100】				認定申請受付件数			
				単位				単位	%			単位	件
指標種類						増加することが良いとされる指標							
指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標（見込み）					100	100	100	100		15,000	20,000	17,000
	実績					44.50	30			11,919	17,035		
達成度						30%							
分析						申請件数が前年度比42.9%の増加であったため、前年度比で14.5ポイント悪化した。				全体件数は前年度比42.9%の増加となり、認定調査を原則市で行う新規の申請(要支援・要介護区分変更申請含む)も、前年度比7.6%増。			

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	5.76
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	19.50
特別職非常勤	143.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

4. 決算額

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	45,056	42,108	45,256		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	91,594	0			
		特別職非常勤	―	0			
		附属機関委員	―	0	0		
		人件費計	136,650	42,108	45,256		
	物件費計		147,866	88,886	110,407	159,323	69%
	歳出計		284,516	130,994	155,663		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			284,516	88,886	110,407	159,323	

5. 総括的分析

総括的分析	主に以下の要因によって審査判定までの時間がかかった ①申請件数が前年度比42.9%増となり、提出された訪問調査票・主治医意見書の目視による内容確認に時間がかかった ②郵便配達が土曜日配達をしなくなった時期以降、郵便が以前より1～2日遅くなった ③対面調査が原則の訪問調査や、対象者からの問診票提出を基本とする主治医意見書は、コロナ禍にあって、ともに提出が大幅遅延した ④新規申請における訪問調査は市調査員が行う必要があるが、新規申請件数が増加しているため、市調査員による調査が遅延する傾向にあった

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取組方針	新規申請等が増加しているため、市調査員による訪問調査体制及び提出された訪問調査票・主治医意見書の目視チェック体制を今後見直していく必要がある。また、介護保険システムの標準化（令和7年度に実施予定）以降に、主治医意見書及び訪問調査の内容をガバメントクラウドのシステムへ取り込むことができるよう、国における標準化の動きを注視していく。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	介護保険円滑実施特別対策事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2006(H18)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	大阪府介護保険低所得者利用者負担対策事業費補助金交付要綱、枚方市低所得利用者負担軽減事業実施要綱				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	障害者総合支援法によるホームヘルプサービス利用において、境界層該当として、定率負担額が0円となる者であって、平成18年4月1日以降に次のいずれかに該当することとなった者。 ①65歳到達以前の概ね1年間に障害者施策によるホームヘルプサービスを利用していた者であって、65歳に到達したことで介護保険の対象となった者。 ②特定疾病によって生じた身体上または精神上の障害が原因で、要介護または要支援の状態となった40歳から64歳までの者。
	サブターゲット	
	ターゲットが抱える課題	障害者ホームヘルプサービスで定率負担額が0円であるが、介護保険の対象となることにより、利用者負担額が発生し、経済的な負担となる。
	ターゲットが抱える課題	
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	介護保険訪問介護の利用にあたって、障害者ホームヘルプサービスと同様に利用者負担額が0円となり、負担が増えることなく、継続したサービスの利用が可能となる。	
事業概要	＜利用者負担軽減措置＞ 障害者総合支援法によるホームヘルプサービスの利用において境界層該当者(※)として定率負担額が0円となっている者であって、平成18年4月1日以降に一定の要件に該当するものを対象に、利用者負担額を全額免除するもの。※境界層該当者とは、定率負担額を下げることにより生活保護を必要としない状態になる者。	

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル		経済的な負担が増えることなく、継続して、介護保険訪問介護サービスを利用することができる。	利用者負担軽減措置を実施する。

指標設定	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明		利用者負担額が0円となる割合 【算出式:利用者負担額が0円となった人数/利用者負担軽減措置人数×100】	利用者負担軽減措置人数
単位		%	人
指標種類		増加することが良いとされる指標	減少することが良いとされる指標

指標数値	アウトカム R2	R3	R4	R5	アウトプット R2	R3	R4	R5	インプット R2	R3	R4	R5
目標（見込み）					100	100	100	100	0	0	0	0
実績					0	0			0	0		
達成度					0%				100%			
分析					対象となる利用者が発生した場合は、利用者の全員が利用者負担額が0円になることがあるべき姿であるが、現状は対象者がいないため0%である。				利用者の経済状況が対象の状態にならないことが望ましい。 現状、対象となる利用者はいない。			

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	0.02
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	0	160	157		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	0	0	0		
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	0	0		
		人件費計	0	160	157		
	物件費計		0	0	0	85	―
	歳出計		0	160	157		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	63	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	63	
一般財源			0	0	0	22	

5. 総括的分析

総括的分析	平成18年度以降、対象者は無し。 この制度については、生活保護水準の収入状況ではない者が、介護サービスを受け自己負担額を支払うことで、生活保護水準を下回る収入状況にならないように、自己負担額を0円にすることで、救済を行うものである。現状、対象者はいないが、該当者があれば、大阪府の補助金要綱及び枚方市の実施要綱に基づき実施していく。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	国の通達及び要綱に基づく事務であるため、国の動向を注視しながら取り組んでいく。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	介護保険円滑実施特別対策補助事業								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2000(H12)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	大阪府介護保険低所得者利用者負担対策事業費補助金交付要綱等				
関係補助金名称	社会福祉法人利用者負担軽減事業費補助金	サンセット	2020(R2)年度	~	2022(R4)年度
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	介護保険サービスを提供する社会福祉法人
	サブターゲット	社会福祉法人が提供する対象サービスを利用する低所得者
	ターゲットが抱える課題	介護保険サービスの利用者負担額が経済的な負担となり、必要十分な介護保険サービスが利用できない。
	ターゲットが抱える課題	社会福祉法人の利用者負担軽減の取り組みを促進する必要がある。
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	社会福祉法人が、低所得者の利用者負担額を軽減することで、必要な介護保険サービスの利用につながり、対象者が安心して生活を営むことができる。	
事業概要	＜社会福祉法人の利用者負担軽減に対する補助＞ 介護保険サービス(介護老人福祉施設入所・通所介護・短期入所生活介護・訪問介護)を提供する社会福祉法人が、利用者負担額に対して1／4の軽減を行った場合に、軽減の額から本来の利用料収入額の1%を控除した額の50%を補助する。	

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル		介護保険サービスを必要とする人の経済的な負担が軽減され、必要十分な介護保険サービスを利用できる。	介護保険サービスの提供を行う社会福祉法人が、低所得者の利用者負担額を軽減し、介護保険サービスの利用促進を図る取り組みに対して、補助を行う。

指標設定	アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明					介護保険サービス利用者数				補助金交付法人数			
			単位				単位	人			単位	法人
指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）						27	27	27		3	3	3
実績					27	29			3	2		
達成度					107%				67%			
分析					サービス利用可能な対象者が増加した。				申請事業者のうち、1事業者が補助対象になる要件に満たなかったため、補助金交付対象となる法人数は減少した。			

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,764	1,595	1,571		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	0	0	0		
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	0	0		
		人件費計	1,764	1,595	1,571		
	物件費計		235	176	122	548	22%
	歳出計		1,999	1,771	1,693		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		182	138	97	411	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		182	138	97	411	
一般財源			1,817	38	25	137	

5. 総括的分析

総括的分析	今年度に補助対象となった2法人に対して、122，000円を補助金として交付した。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	国の通達及び要綱に基づく事務であるため、国の動向を注視しながら取り組んでいく。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	介護保険給付事業								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2000(H12)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	介護保険法				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	介護保険サービス利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	日常生活において介護や支援を必要とする人が、状態に応じた適切な介護給付サービス、介護予防給付サービスを受けることにより、できる限り自立した生活を送ること。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	介護保険サービスを受けるために必要な介護保険の資格、要介護・要支援認定および介護給付に関する情報を保険者が包括的に管理することにより、被保険者が迅速かつ適切に必要な介護保険サービスを受けることができる。				
事業概要	○介護保険請求審査・保険者共同処理等業務（大阪府国民健康保険団体連合会に委託実施） ○認定支援事務、保険料・給付事務、高齢者福祉関係事務の業務に関して、電子計算システムを導入し対応 ○システム再構築により、さらなる事務の効率化を図る				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル		被保険者が迅速かつ適切に必要な介護保険サービスを受けることができる。	介護保険サービスを受けるために必要な介護保険の資格、要介護・要支援認定および介護給付に関する情報を保険者が包括的に管理する。

指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明		介護保険給付件数	要介護・要支援認定者数
単位		件	人
指標種類		増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）						2,063,621	2,098,905	2,128,467		21,570	21,939	22,248
実績					1,966,617	2,031,762			21,596	21,734		
達成度					98%				101%			

分析		要介護・要支援認定者数は増加しているが、給付件数は減少している。通所型サービスの給付件数の減少がみられることから、新型コロナウイルス感染症によるサービス受給控えが考えられる。	高齢者人口が増えているため、それに伴い要介護・要支援認定者数についても増加している。

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル②		介護保険事務システムが適正に運用される。	介護保険事務システムについて、適宜、改修等を行う。

指標設定②

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明		システム障害発生件数	システム保守点検回数
単位		件	回
指標種類		減少することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）					0	0	0	0	12	12	12	12
実績					0	0			12	12		
達成度					100%				100%			

分析		保守点検を適切に行っているため、システム障害は発生していない。	システム改修や日々の保守点検作業を適切に行っている。

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	2.23
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	17,878	17,784	17,521		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	0	0	0		
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	0	0		
		人件費計	17,878	17,784	17,521		
	物件費計		53,544	88,604	82,074	88,003	93%
	歳出計		71,422	106,388	99,595		
歳入	国庫支出金		6,048	0	8,600	8,600	
	府支出金		3,254	0	0	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		13,478	0	6,681	6,728	
	歳入計		22,780	24,800	15,281	15,328	
一般財源			48,642	63,804	66,793	72,675	

5. 総括的分析

総括的分析	要介護・要支援状態にある対象者に、適切な認定を行うことで、必要な介護サービスの受給に繋げることができている。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	適切な認定を進めていくことで、軽度の状態から必要な介護サービスを受けることに繋がり、重症化の防止や介護度の軽減化を図っていく。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	介護保険特別会計繰出金事務								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名								

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	2000(H12)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	介護保険法				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	課職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	介護保険法に基づく一般会計から介護保険特別会計への繰出金の支出管理を適正に行う必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	介護保険法に基づく一般会計から介護保険特別会計への繰出金の支出管理が適正に行われている状態。				
事業概要	【市町村の負担割合】 保険給付費総額の12.5% 地域支援事業費のうち総合事業については12.5%、包括的支援事業・任意事業費については19.25% 人件費などの事務経費については100%				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル			

指標設定		アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明				単位				単位				単位	
指標種類													
指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標（見込み）												
	実績												
達成度													
分析													

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,603	1,595	1,571		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	0	0	0		
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	0	0		
		人件費計	1,603	1,595	1,571		
	物件費計		4,733,950	4,977,598	5,143,462	5,433,939	95%
	歳出計		4,735,553	4,979,193	5,145,033		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			4,735,553	4,977,598	5,143,462	5,433,939	

5. 総括的分析

総括的分析	介護保険法に基づく市町村（保険者）の負担金として、一般会計より介護保険特別会計へ繰出しを行う。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	適切な処理を行う。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	介護保険料賦課徴収事務								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2000(H12)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	地方自治法第231条、介護保険法、枚方市介護保険条例				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	枚方市に現在住民票がある、または、以前住民票があり市外住所地特例施設に住民票がある65歳以上の人
	サブターゲット	
	ターゲットが抱える課題	前年の被保険者・世帯の課税・所得状況で保険料を賦課しているが、様々な理由で被保険者に賦課した保険料が未納となっている。
	ターゲットが抱える課題	介護保険事業の円滑な実施のため、第1号被験者に係る保険料を賦課・徴収する必要がある。
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	介護保険料の徴収率100%により被保険者が等しく保険料を負担し、介護保険制度が円滑に実施されている状態。	
事業概要	第1号被保険者に係る保険料を賦課・徴収する。滞納者に対して、督促状・催告書の送付、納付相談の実施、さらに債権回収課との連携を図ることで、滞納額の減少に取り組んでいる。	

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル		介護保険第1号被保険者に係る保険料を徴収する。	介護保険第1号被保険者に係る保険料を賦課する。

指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明		保険料徴収率(現年度) 【算出式:収納額／調定額×100 】	賦課対象者数
単位		%	人
指標種類		増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）					99.25	99.36	99.37	99.37	112,154	114,050	114,202	114,231
実績					99.35	99.43			113,403	113,790		

達成度		100%	100%
分析		現年徴収率の実績値は前年と比較し0.08ポイント増加となり徴収率向上を図った	65歳以上は第1号被保険者となり、賦課対象となる

ロジックモデル②		滞納に係る保険料徴収率が向上する。	督促状・催告書の送付、納付相談の実施など、滞納者への対策に取り組む。

指標設定②

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明		保険料徴収率(滞納繰越)	督促状・催告書送付件数
単位		%	件
指標種類		増加することが良いとされる指標	減少することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）					19.32	18.89	19.24	19.24		19,031	19,031	19,031
実績					17.90	20.80			19,040	20,616		

達成度		110%	92%
分析		催告書を送り納付相談に繋げる。または債権回収課へ移管し、滞納処分等で収納率の向上を図る。	滞納者に対し督促状・催告書を送付することで、納付の意識づけを行い収納に努める

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	4.90
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.84
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	44,126	40,054	38,499		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	3,502	0			
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	0	0		
		人件費計	47,628	40,054	38,499		
	物件費計		57,055	53,872	38,548	47,635	81%
	歳出計		104,683	93,926	77,047		
歳入	国庫支出金		14,597	15,625	7,029	7,110	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		7,309	896	7,908	7,868	
	歳入計		21,906	16,521	14,937	14,978	
一般財源			82,777	37,351	23,611	32,657	

5. 総括的分析

総括的分析	債権回収課への移管や催告書を送付するなど、滞納者への積極的な働きかけを行うことで、納付や分割相談に繋げ、収納率の向上を図っていく。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も引き続き収納率の向上を図っていく

事務事業実績測定調書

事務事業名称	給付費負担金交付事業									
測定年度	2021(R3)年度			部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2000(H12)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	介護保険法				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	介護サービス事業者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	介護報酬請求事務を正確に行い、介護保険から適正な金額の介護報酬の支払いを受ける。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	介護報酬の請求・支払事務を大阪府国民健康保険団体連合会に委託することにより、事務の効率化につながり、迅速かつ正確な報酬の支払いが可能となる。				
事業概要	○介護保険法で定めるサービスの主なもの 訪問介護・訪問看護・通所介護・通所リハビリテーション・短期入所生活介護・短期入所療養介護・特定施設入居者生活介護・小規模多機能型居宅介護・認知症対応型共同生活介護・介護老人福祉施設・介護老人保健施設・介護療養型医療施設・福祉用具貸与・居宅介護支援　等				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル		介護サービス事業者に、適正に介護報酬が支払われる。	大阪府国民健康保険団体連合会に対して、介護報酬の請求・支払事務に係る負担金を交付する。

指標設定	アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明					介護報酬の支払い額				負担金の交付見込み額			
			単位				単位	千円			単位	千円
指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）					32,673,812	30,837,817	31,450,225	32,673,812	32,673,812	30,837,817	31,450,225	32,673,812
実績					29,293,412	30,237,246			29,293,412	30,237,246		
達成度					98%				98%			
分析					令和3年度についても、新型コロナウイルス感染症の影響により、想定よりも介護サービスの受給が少なかった。				令和3年度についても、新型コロナウイルス感染症の影響により、想定よりも介護サービスの受給が少なかったことで、負担金の額も少なかった			

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	1.81
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	2.74
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	（参考）R3予算額	（参考）予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	16,756	14,435	14,221		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	6,470	0			
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	0	0		
		人件費計	23,226	14,435	14,221		
	物件費計		29,302,737	30,296,517	31,213,372	32,011,113	98%
	歳出計		29,325,963	30,310,952	31,227,593		
歳入	国庫支出金		6,338,949	6,765,055	6,791,279	6,770,713	
	府支出金		4,130,919	4,297,527	4,427,830	4,511,838	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		15,176,476	15,043,910	15,626,462	15,711,359	
	歳入計		25,646,344	26,053,092	26,845,571	26,993,910	
一般財源			3,679,619	4,243,425	4,367,801	5,017,203	

5. 総括的分析

総括的分析	介護サービスの利用額（国民健康保険連合会で審査支払を実施しているもののみ）が目標より下回った。 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、介護サービスの受給が減少したためと考える。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も介護サービスの適切な実施に努める。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	地域支援事業任意事業								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名	9-3.介護事業の充実							

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	介護保険法				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	①市民税非課税世帯に属する要介護3から要介護5の認定を受けた在宅の要介護者 ②介護事業所を利用している要支援・要介護認定者とその家族
	サブターゲット	
	ターゲットが抱える課題	大きな介護用品(オムツ等)を購入し運搬することや頻繁な買い物のための外出が困難、またお世話になっているという思いから多少の不都合や不具合を我慢してしまい大きなトラブルに発展する、病気や老い、孤独など様々な不安を抱えている。
	ターゲットが抱える課題	
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	介護保険事業の運営の安定化が図られることで、家族の身体的・精神的・経済的負担の軽減や介護サービスの質の向上、生活における不安が軽減され、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができている状態。	
事業概要	①本市に住所を有し、市民税非課税世帯に属する要介護度3から要介護度5の認定を受けた在宅の要介護者を対象に、介護用品を支給する。 ②派遣依頼のあった介護サービス事業者等へ介護相談員が定期的に訪問し、事業者と利用者または家族の橋渡しをすることで、利用者の疑問や不満、不安の解消を図ると同時に事業所のサービスの質の向上を図る。	

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
ロジックモデル	住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができる。	身体的及び経済的負担の軽減が図られる。	対象者に介護用品を支給する。

指標設定

	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
指標説明	利用者のうち、前年度から継続して利用している人数 【算出式:前年度からの継続利用者数】	低所得者に対する経済的負担の軽減を図った1人あたりの平均利用金額 ※ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)において定める「在宅介護用品支給事業」支給対象者数(ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定)	在宅介護用品支給事業の利用者数 ※ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)において定める「在宅介護用品支給事業」支給対象者数(ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定)
単位	人	円	人
指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	アウトカム R2	R3	R4	R5	アウトプット R2	R3	R4	R5	インプット R2	R3	R4	R5
目標(見込み)	510	510	510	510	5,219	5,194	5,194	5,194	10,161	5,989	6,472	6,801
実績	298	306			4,145	4,173			5,987	5,692		
達成度	60%				80%				95%			
分析	目標値を大幅に下回っているが、令和2年度実績の1.03倍とほぼ横ばいの状態である。				目標値は、ひらかた高齢者保健福祉計画21(第8期)を基に設定。実績は目標値を下回っているが、令和2年度実績とほぼ横ばいの状態である。				目標値は、ひらかた高齢者保健福祉計画21(第8期)を基に設定。実績は概ね想定通りとなった。			

	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
ロジックモデル②	住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができる。	利用者の疑問や不満、不安の解消を図ると同時に事業所のサービスの質の向上を図る。	派遣依頼のあった介護サービス事業者等へ介護相談員が定期的に訪問する。

指標設定②

	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
指標説明	利用者のうち、前年度から継続して利用している人数 【算出式:前年度からの継続利用者数】	介護相談員の延べ派遣回数	介護相談員派遣人数
単位	人	回	人
指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	アウトカム R2	R3	R4	R5	アウトプット R2	R3	R4	R5	インプット R2	R3	R4	R5
目標(見込み)	510	510	510	510	1,000	1,000	1,000	1,000	40	40	40	40
実績	298	306			0	0			0	0		
達成度	60%				0%				0%			
分析	目標値を大幅に下回っているが、令和2年度実績の1.03倍とほぼ横ばいの状態である。				新型コロナウイルス感染拡大を受け、令和2年4月から派遣を見合わせている				新型コロナウイルス感染拡大を受け、令和2年4月から派遣を見合わせている			

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	0.22
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.09
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	5,612	1,595	1,729		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	492	0			
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	0	0		
		人件費計	6,104	1,595	1,729		
	物件費計		30,685	27,783	26,967	36,603	74%
	歳出計		36,789	29,378	28,696		
歳入	国庫支出金		11,814	12,652	11,375	11,527	
	府支出金		5,907	5,808	5,688	5,764	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		7,057	3,230	4,741	4,796	
	歳入計		24,778	21,690	21,804	22,087	
一般財源			12,011	6,093	5,163	14,516	

5. 総括的分析

総括的分析	在宅の要介護者723人に対して介護用品の支給を行った。 介護相談員については、新型コロナウイルス感染拡大を受け、令和2年4月から派遣を見合わせている。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	介護用品支給事業については、住み慣れた地域で安心して生活出来るよう、引き続き事業を実施する。 介護相談員の派遣再開の時期を検討していく。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	地域支援事業任意事業（介護給付等費用適正化事業等）								
測定年度	2021（R3）年度		部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	介護保険法				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	介護保険の被保険者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	所得に応じた適正な金額の介護保険料を納付し、自立支援および要介護状態の重度化防止に資する介護保険サービスが受けられること。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	適切なケアマネジメントによる介護保険サービスが提供されることにより、保険給付が適正化され、介護保険料の上昇が抑制されるとともに、自立支援および要介護状態の重度化防止につながり、被保険者の生活の質が向上する。				
事業概要	①ケアマネジメント活動支援事業 ②要介護認定の適正化 ③ケアプラン点検の実施や給付費明細通知の送付 ④福祉用具に関する講習会及び住宅改修の理由書作成支援 ⑤住宅改修現地調査				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル	介護保険事業の運営の安定化が図られる。	適切に介護保険サービスを提供する。	適切なケアマネジメントに向けた活動を効率的に支援する。

指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明	指摘事項に対する改善率 【算出式：ケアプランの改善が必要な件数/ケアプラン点検の件数×100】	ケアプラン策定件数	ケアプラン点検件数
単位	%	件	件
指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）	100	100	100	100		139,593	144,733	150,138		60	60	60
実績	100	100			137,816	143,002			37	61		
達成度	100%				102%				102%			

分析	改善率は100％であるため、安定化が図られていると考える。	要介護・要支援認定者数が増加したことから、それに伴うケアプランの策定も増加した。	昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で点検件数が少なかったが、今年度は電話等でのヒアリング手法も加え、点検を進めた。

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル②	介護保険事業の運営の安定化が図られる。	適切に介護保険住宅改修費を支給する。	住宅改修現地等調査を実施する。

指標設定②

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明	指摘事項に対する改善率 【算出式：ケアプランの改善が必要な件数/ケアプラン点検の件数×100】	支給件数	調査件数
単位	%	件	件
指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）	100	100	100	100	1,656	1,752	1,812	1,884	24	24	24	24
実績	100	100			1,698	1,783			30	25		
達成度	100%				102%				104%			

分析	改善率は100％であるため、安定化が図られていると考える。	コロナ過の中、自宅での介護の増加に伴い自立に繋がる住宅改修が増えたことが想定される。	住宅改修が適正に行われることで、介護状態の改善にも繋がることから適宜抽出して、訪問調査・ヒアリング調査を行った。

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	0.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.10
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	4,009	3,988	3,929		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	0	0			
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	0	0		
		人件費計	4,009	3,988	3,929		
	物件費計		14,182	11,260	10,538	24,003	44%
	歳出計		18,191	15,248	14,467		
歳入	国庫支出金		5,460	5,128	4,445	4,504	
	府支出金		2,730	2,354	2,223	2,253	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		3,120	1,296	1,852	1,865	
	歳入計		11,310	8,778	8,520	8,622	
一般財源			6,881	2,482	2,018	15,381	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症予防の観点から訪問調査という手法だけでなく、ヒアリング調査という手法を行うことで、適正なケアプランの策定や住宅改修が行われているかを確認し、介護状態の改善や自立に繋げるケアプラン策定や住宅改修に対する支援が行えたと考える。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	現状は維持しつつ、今後も様々な手法を併用することで適正な住宅改修に繋げていく。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	ひらかた高齢者保健福祉計画21推進事業								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部		課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名								

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1999(H11)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	老人福祉法、介護保険法、枚方市社会福祉審議会条例、枚方市社会福祉審議会規則				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称	社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会				
事業対象	メインターゲット	高齢者			
	サブターゲット	介護保険サービス事業者			
	ターゲットが抱える課題	高齢者が可能な限り住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域全体で高齢者を支える仕組みづくりや、高齢者が継続して在宅生活ができる環境の整備が必要である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	高齢者が個々の心身の状態や生活状況に応じて、いつまでも住み慣れた地域で生きがいをもち、元気で自分らしい生活を送ることができる。				
事業概要	老人福祉法及び介護保険法の規定に基づき、老人福祉計画と介護保険事業計画を「ひらかた高齢者保健福祉計画21」として一体的に策定することで、高齢者福祉事業の供給体制の確保及び介護保険事業に係る保険給付を円滑に実施していく。計画は、3年を1期とした計画期間とし、介護給付等対象サービスや、地域支援事業の必要量の見込みなどについて定めるとともに、介護保険料の改定も盛り込んだ計画とするもの。調査審議は、枚方市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会で行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル		「ひらかた高齢者保健福祉計画21」に係る取り組みが確実に推進される。	「ひらかた高齢者保健福祉計画21」の改訂および推進に係る事務を実施する。

指標設定	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明		計画の進捗状況 【算出式:保険給付費及び地域支援事業費の実績値／計画値×100】 ((ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定)	計画の進捗状況を調査・把握する回数
	単位	単位 %	単位 回
指標種類		増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）					100	100	100	100	3	3	3	3
実績					90.30	95.24			4	2		
達成度					95%				67%			
分析					令和3年度は、第8期計画期間の初年度であることから、比較的計画値に近い実績値となった。				第8期計画に掲げた各取り組みについて、適切に進めた。R3年度の実績回数は、国からの照会に基づき進捗状況を確認した回数としている。			

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	0.70
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	3,207	11,165	5,500		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	0	0	0		
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	0	0		
		人件費計	3,207	11,165	5,500		
	物件費計		6,569	2,024	0	0	―
	歳出計		9,776	13,189	5,500		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			9,776	2,024	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	令和3年度は第8期計画の初年度であり、施設整備や高齢者人口の伸び率等を考慮して見込んだ計画値と、比較的近い実績値となった。 今後も65歳以上人口の増加に伴い、要支援・要介護認定者数の増加も見込まれることから、第8期では「高齢者が生きがいをもち、自分らしく暮らすことのできるまちづくり」を基本理念とし、団塊世代の全ての人が75歳以上に到達する2025年（令和7年）、さらに団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年（令和22年）を見据え、地域共生社会の実現に向けて地域全体で高齢者を支えるシステムの構築を推進していくこととしている。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	第8期計画に基づき、取り組みを進めるとともに、進捗状況の把握を行う。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	軽費老人ホーム補助事業								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部		課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2014(H26)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市軽費老人ホーム事務費補助金交付要綱				
関係補助金名称	軽費老人ホーム事務費補助金	サンセット	2020(R2)年度	~	2022(R4)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	日常生活のサポートを必要とするが、近親者によるサポートが難しい高齢者			
	サブターゲット	軽費老人ホームサービス事業者			
	ターゲットが抱える課題	安心して生活を送るためには、日常生活のサポートを受けることができる施設への入所が必要であるが、利用料の負担等に不安がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	軽費老人ホームを利用する高齢者の利用料負担を軽減することにより、安心して入所し、生活を送ることができる。				
事業概要	枚方市内に老人福祉法第20条の6に規定する軽費老人ホームを設置、運営する社会福祉法人に対し、事務費（サービスの提供に要する費用）補助金を交付する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル	メインターゲットの軽費老人ホーム利用が増加し、日常生活のサポートを受けることができる。	軽費老人ホームを利用する高齢者の利用料負担が軽減される。	軽費老人ホームを設置、運営する社会福祉法人に対し、事務費（サービスの提供に要する費用）補助金を交付する。

指標設定	アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明	施設に入所したい人が入所できている割合【算出式：当該年度入所者数/入所を希望する人の数×100】				利用料軽減額の平均月額				補助金交付施設数			
			単位	%			単位	円			単位	施設
指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）	90	90	90	90	58,500	58,500	58,500	58,500	8	8	8	8
実績	90.15	91			59,006	58,559			8	8		
達成度	101%				100%				100%			
分析	想定通りであった。				想定通りであった。				想定通りであった。			

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,603	1,595	1,571		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	0	0	0		
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	0	0		
		人件費計	1,603	1,595	1,571		
	物件費計		204,604	207,701	206,597	210,000	98%
	歳出計		206,207	209,296	208,168		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			206,207	207,701	206,597	210,000	

5. 総括的分析

総括的分析	枚方市内に8施設ある軽費老人ホームに適切な補助金を交付することで、高齢者の利用料負担を軽減することができた。 コロナウイルス感染拡大防止のため、例年実施していた収入認定にかかる実地検査が中止となった。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き高齢者が住み慣れた地域で地域で安心して暮らしていけるよう、適切な補助金を交付する。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	在日外国人特別給付金支給事業								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部		課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1996(H8)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市在日外国人等高齢者給付金支給要綱				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	外国人に対する国民年金法の適用前から居住する在日外国人等で、老齢基礎年金等の支給を受けられない高齢者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	老齢基礎年金等の支給を受けられず、生活維持に不安がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	老齢基礎年金等の支給を受けられない在日外国人高齢者等が給付金を受けることで生活維持を図る。				
事業概要	老齢基礎年金等の支給を受けられない在日外国人高齢者等に、年2回給付金を支給する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル	老齢基礎年金の支給を受けられない在日外国人高齢者の生活が維持される。	在日外国人特別給付金を支給する。	在日外国人特別給付金に係る支給要件を確認する。

指標設定	アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明	在日外国人特別給付金の給付額				在日外国人特別給付金を給付した人数				在日外国人特別給付金の年度当初の給付対象者数			
			単位	円			単位	人			単位	人
指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）	240,000	240,000	240,000	240,000	2	2	2	2	2	2	2	2
実績	240,000	110,000			2	1			2	1		
達成度	46%				50%				50%			
分析	給付対象者の減少による結果。				給付対象者の減少による結果。				給付対象者の減少による結果。			

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	0.08
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	160	160	629		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	0	0	0		
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	0	0		
		人件費計	160	160	629		
	物件費計		240	240	110	240	46%
	歳出計		400	400	739		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			400	240	110	240	

5. 総括的分析

総括的分析	支給要件の確認を行い、1名へ給付金を支給した（年2回）。大正15年4月1日以前生まれの在日外国人等に限られるため、対象者は減少していく。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き対象となる在日外国人高齢者の生活維持のために給付金の支給を行う。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	在宅福祉サービス事業								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部		課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名	9-3.介護事業の充実							

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市緊急通報体制整備事業実施要綱、枚方市高齢者日常生活用具給付等事業実施要綱等				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	①概ね65歳以上のひとり暮らしの方、昼間独居の方等 ②概ね65歳以上のひとり暮らしの方で安否の確認を必要とする方 ③心身の機能低下により、火災防止の必要な概ね65歳以上のひとり暮らしの方 ④在宅で介護を受けている概ね65歳以上の方(介護度に応じた条件あり)
	サブターゲット	
	ターゲットが抱える課題	家庭内で病気や事故等の緊急事態が発生した場合に助けを求める人がいない、また、心身機能の変化の不安やささいな困り事の相談先がない、心身機能の低下により火災発生の恐れや理美容院へ通うことができない。
	ターゲットが抱える課題	
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	住み慣れた地域で適切な支援を受けることができ、誰もが安心して生活することができること。	
事業概要	①緊急通報装置の貸与 ②電話による安否確認と相談 ③日常生活用品(電磁調理器)の支給 ④理美容店へ行くことが困難な高齢者に在宅での理美容サービスを提供	

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
ロジックモデル	住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができる。	高齢者が、住み慣れた地域で適切な支援を受けることができる。(緊急通報装置貸与)	高齢者の在宅生活を支援するためのサービスを実施する。(緊急通報装置貸与)

指標設定	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
指標説明	利用者のうち、前年度から継続して利用している人数 【算出式:前年度からの継続利用者数】	消防署の通報のうち正報の割合 【算出式:正報件数/通報件数×100】	緊急通報装置の利用人数(当該年度末)
単位	人	%	人
指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標(見込み)	2,750	2,750	2,750	2,750	25	30	35	40	3,000	3,000	3,000	3,000
実績	2,578	2,418			23	44			2,860	2,676		
達成度	88%				147%				89%			
分析	概ね想定通りであった。				想定よりも正報割合が上回った。				概ね想定通りであった。			

	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
ロジックモデル②	住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができる。	高齢者が、住み慣れた地域で適切な支援を受けることができる。(電話による安否確認)	高齢者の在宅生活を支援するためのサービスを実施する。(電話による安否確認)

指標設定②	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
指標説明	利用者のうち、前年度から継続して利用している人数 【算出式:前年度からの継続利用者数】	電話による安否確認実施回数	電話による安否確認サービス受給者数
単位	人	回	人
指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標(見込み)	2,750	2,750	2,750	2,750	1,080	1,080	1,080	1,260	90	90	90	90
実績	2,578	2,418			834	703			64	53		
達成度	88%				65%				59%			
分析	概ね想定通りであった。				想定を下回った。				想定を下回った。			

ロジックモデル③	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
	住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができる。	高齢者が、住み慣れた地域で適切な支援を受けることができる。（日常生活用品（電磁調理器）の支給または貸与）	高齢者の在宅生活を支援するためのサービスを実施する。（日常生活用品（電磁調理器）の支給または貸与）

指標設定③	アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明	利用者のうち、前年度から継続して利用している人数 【算出式：前年度からの継続利用者数】				日常生活用品の支給または貸与累計数（平成30年度以降）				日常生活用品の支給または貸与数			
			単位	人			単位	件			単位	件
指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込）	2,750	2,750	2,750	2,750	22	32	42	52	10	10	10	10
実績	2,578	2,418			24	33			8	9		
達成度	88%				103%				90%			
分析	概ね想定通りであった。				概ね想定通りであった。				概ね想定通りであった。			

ロジックモデル④	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
	住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができる。	高齢者が、住み慣れた地域で適切な支援を受けることができる。（理美容サービス）	高齢者の在宅生活を支援するためのサービスを実施する。（理美容サービス）

指標設定④	アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明	利用者のうち、前年度から継続して利用している人数 【算出式：前年度からの継続利用者数】				理美容サービス受給者数				理美容サービス実施事業者数			
			単位	人			単位	人			単位	件
指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込）	2,750	2,750	2,750	2,750	100	100	100	100	110	110	110	110
実績	2,578	2,418			100	110			107	95		
達成度	88%				110%				86%			
分析	概ね想定通りであった。				想定よりも受給者数が上回った。				想定を下回った。年々、実施事業者数は減少することが予想される。			

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	0.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	8,258	3,988	3,929		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	0	0	0		
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	0	0		
		人件費計	8,258	3,988	3,929		
	物件費計		45,468	45,215	43,064	48,899	88%
	歳出計		53,726	49,203	46,993		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		420	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		44,499	377	42,098	750	
	歳入計		44,919	44,302	42,098	750	
一般財源			8,807	913	966	48,149	

5. 総括的分析

総括的分析	緊急通報装置の貸与（設置台数） 2676人（うち新規申請者数：256人） 電話による安否確認と相談（登録数） 53 人（うち新規申請者数：2人） 日常生活用品（電磁調理器）の新規申請数 9人 理美容サービス登録者数 164人、総利用回数 324回

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	社会状況の変化に伴うニーズを把握しながら、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、引き続き事業を継続する。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	高齢者福祉タクシー基本料金補助事業								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名	9-2.高齢者の生きがいづくりと外出支援							

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1991(H3)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市福祉タクシー基本料助成事業実施要綱				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	要介護認定を受け、在宅で介護を受けている65歳以上の寝たきり高齢者で、生計中心者の市民税所得割額が12万円以下の世帯に属する人			
	サブターゲット	高齢者福祉タクシー登録事業者			
	ターゲットが抱える課題	寝たきりなどで外出が困難であり、通院等外出時の交通費の経済的負担がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	経済的負担の軽減や日常生活の利便を図ることで、多くの高齢者が在宅生活を継続することができる。				
事業概要	寝たきりなどで外出が困難な低所得高齢者にタクシー基本料金(2回／月)を助成する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル	低所得高齢者が継続してタクシー基本料金の助成を受けることで、経済的負担の軽減や日常生活の利便を図ることができる。	通院等外出の機会が増える。	対象者に、タクシー基本料金を助成する。

指標設定	アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明	継続利用者数の割合 【算出式:前年度からの継続利用者数/利用者数×100】				福祉タクシー基本料助成利用券の延べ利用回数				福祉タクシー基本料助成利用券の利用者数			
	単位			%	単位			回	単位			人
指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）	50	50	50	50	1,230	1,230	1,230	1,230	126	126	126	126
実績	59	55			941	1,159			91	107		
達成度	110%				94%				85%			
分析	継続利用者数は想定を上回った。				コロナ感染症の影響により外出の機会が減り、想定よりも利用回数が少なかった。				コロナ感染症の影響により外出の機会が減り、想定よりも利用者数が少なかった。			

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,603	1,595	1,571		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	0	0	0		
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	0	0		
		人件費計	1,603	1,595	1,571		
	物件費計		783	651	819	883	93%
	歳出計		2,386	2,246	2,390		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			2,386	651	819	883	

5. 総括的分析

総括的分析	継続利用者の割合については想定を上回ったが、利用回数・利用者数については新型コロナウイルス感染症の影響により高齢者の外出の機会が減少したため、目標を下回った。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き寝たきりなどで外出困難な高齢者の経済的負担の軽減及び日常生活の利便等を図る。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	公的介護施設等整備補助事業								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2013(H25)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市公的介護施設等整備補助金交付要綱				
関係補助金名称	公的介護施設等整備補助金	サンセット	2020(R2)年度	~	2022(R4)年度
関係附属機関名称	枚方市介護保険施設等整備審議会				
事業対象	メインターゲット	公的介護施設等の整備事業者			
	サブターゲット	介護保険施設等の入所・利用者			
	ターゲットが抱える課題	施設整備費用が負担となり、施設入所・利用を希望する高齢者のニーズに応えることができない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	ひらかた高齢者保健福祉計画21に基づく施設整備を促進することで、高齢者が安全・安心に、必要な施設サービスを受けることができている。				
事業概要	ひらかた高齢者保健福祉計画21に基づく整備を行う事業者に対し、補助金を交付することにより、高齢者の安全・安心な生活を確保するための公的介護施設等の基盤整備を行うもの。				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル	公的介護施設等を利用する高齢者が、安全・安心に、必要な施設サービスを受けることができる。	公的介護施設等の整備が促進される。（介護施設の基盤整備）	公的介護施設等の整備事業者に対し、公的介護施設の基盤整備を行うための補助金を交付する。（介護施設の基盤整備）

指標設定	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明	当該整備を行った施設の利用率【算出式：当該整備を行った施設の利用者数/当該整備を行った施設の利用定員増加数×100】	公的介護施設等整備補助金の交付により整備を行った施設の利用定員増加数（ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定）	ひらかた高齢者保健福祉計画21に基づく公的介護施設等整備補助金の交付事業者数（ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定）
単位	%	人	事業者
指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
アウトカム 目標（見込み）	100	100	100	100	192	0	141	108	11	0	8	3
アウトカム 実績	7	0			136	0			7	0		
達成度	0%				0%				0%			

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
分析	令和3年度は、第8期計画に基づく整備を行う事業者の公募選定を行ったため、施設の整備は行わず、施設の利用定員も増加しなかったため、実績がなかった。	想定通りであった。	想定通りであった。

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	0.70
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	8.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	6,414	4,785	5,500		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	0	0	0		
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	0	152		
		人件費計	6,414	4,785	5,652		
	物件費計		73,096	603,487	60,278	64,563	93%
	歳出計		79,510	608,272	65,930		
歳入	国庫支出金		0	0	7,234	14,353	
	府支出金		73,096	386,477	35,701	44,796	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	209,000	1,300	0	
	その他		929	1,010	279	279	
	歳入計		74,025	596,487	44,514	59,428	
一般財源			5,485	7,000	15,764	5,135	

5. 総括的分析

総括的分析	令和3年度は、ひらかた高齢者保健福祉計画（第8期）に基づき、地域密着型特別養護老人ホーム等の整備を行う事業者の公募選定を行い、補助金の交付等は行わなかったため、実績がなかった。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	ひらかた高齢者保健福祉計画21（第8期）に基づき、地域密着型サービス等の整備を行う事業者を公募し、介護施設等の基盤整備を進める。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	市立くずは北デイサービスセンター維持管理事業								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名								

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2015(H27)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市デイサービスセンター条例、介護保険法、老人福祉法				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市立くずは北デイサービスセンター利用者			
	サブターゲット	在宅で介護をしている家族			
	ターゲットが抱える課題	安全に利用できる施設への通所により、心身の健康と福祉の増進が図られ、在宅にて介護を継続することができる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	安全に利用できるよう必要な施設保全や保守点検等が実施され、市立くずは北デイサービスセンター利用者の心身の健康と福祉の増進が図られている状態。				
事業概要	平成18年3月まで枚方市立くずは北デイサービスセンターの運営及び維持管理業務を社会福祉法人大阪府母子寡婦福祉連合会に委託していた。平成18年4月からは、指定管理者制度を導入し、指定管理者として社会福祉法人大阪府母子寡婦福祉連合会が管理運営を行っている。				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル		市立くずは北ディサービスセンターが適正に維持管理されている。	必要な保守点検等を実施する。

指標設定	アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				保守点検や修繕、補修工事の件数。			
			単位				単位	%			単位	件
指標種類					減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）					100以内	100以内	100以内	100以内	23	23	23	23
実績					90	90			13	21		
達成度					110%				109%			
分析					【実績】給湯設備改修工事 概ね想定通り				概ね想定通り（点検や検査の回数については年間で複数回行うものも1回と数える。30万円を超えて行う備品交換は数えない）			

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,603	1,595	1,571		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	0	0	0		
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	0	0		
		人件費計	1,603	1,595	1,571		
	物件費計		231	23,568	5,429	4,246	128%
	歳出計		1,834	25,163	7,000		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	10,500	0	113,000	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	19,147	0	113,000	
一般財源			1,834	4,421	5,429	▲ 108,754	

5. 総括的分析

総括的分析	修繕等に係る経費で積算金額が、30万以上の事案（保全計画含む）は市負担で修繕等が1件、30万未満の事案は指定管理者負担で12件、他に指定管理者が8件の建築設備等保守管理業務保守点検等を行った。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、指定管理者による運営が適切に行われるよう、施設管理運営状況の確認を行うとともに、利用者が安全に施設を利用できるよう、必要な施設保全や保守点検等を実施していく。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	市立デイサービスセンター維持管理事業								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名								

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1997(H9)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市デイサービスセンター条例、介護保険法、老人福祉法				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市立デイサービスセンター利用者			
	サブターゲット	在宅で介護をしている家族			
	ターゲットが抱える課題	安全に利用できる施設への通所により、心身の健康と福祉の増進が図られ、在宅にて介護を継続することができる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	安全に利用できるよう必要な施設保全や保守点検等が実施され、枚方市立デイサービスセンター利用者の心身の健康と福祉の増進が図られている状態。				
事業概要	平成18年3月まで枚方市立デイサービスセンターの運営及び維持管理業務を社会福祉法人大阪府母子寡婦福祉連合会に委託していた。 平成18年4月からは、指定管理者制度を導入し、指定管理者として社会福祉法人大阪府母子寡婦福祉連合会が管理運営を行っている。				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル		市立ディサービスセンターが適正に維持管理されている。	必要な保守点検等を実施する。

指標設定	アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合 【算出式:決算額/当初予算額×100】				保守点検や修繕、補修工事の件数			
			単位				単位	%			単位	件
指標種類					減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）					100以内	100以内	100以内	100以内	28	28	28	28
実績					2	79.20			23	22		
達成度					121%				121%			
分析					【実績】受変電設備更新工事 概ね想定通り				概ね想定通り（備品の修繕等は除く）			

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,203	1,595	1,571		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	0	0	0		
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	0	0		
		人件費計	1,203	1,595	1,571		
	物件費計		12,293	2,968	29,898		―
	歳出計		13,496	4,563	1,571		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		215	0	0	0	
	歳入計		215	879	0	0	
一般財源			13,281	2,089	29,898	0	

5. 総括的分析

総括的分析	修繕等に係る経費で積算金額が、30万以上の事案（保全計画含む）は市負担で修繕等が1件、指定管理者負担が6件、他に指定管理者が15件の建築設備等保守管理業務保守点検等を行った。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、指定管理者による運営が適切に行われるよう、施設管理運営状況の確認を行うとともに、利用者が安全に施設を利用できるよう、必要な施設保全や保守点検等を実施していく。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	市立特別養護老人ホーム維持管理事業								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名								

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1993(H5)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市立特別養護老人ホーム条例、介護保険法、老人福祉法				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市立特別養護老人ホーム利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	利用者の心身の健康と福祉の増進が図られ、また安全に利用できるよう必要な施設保全や保守点検等を実施する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	安全に利用できるよう必要な施設保全や保守点検等を実施され、枚方市立特別養護老人ホーム利用者が心身の健康と福祉の増進が図られている状態。				
事業概要	平成18年3月まで市立特別養護老人ホームの運営及び維持管理業務を社会福祉法人大阪府母子寡婦福祉連合会に委託していた。平成18年4月からは、指定管理者制度を導入し、指定管理者として社会福祉法人大阪府母子寡婦福祉連合会が管理運営を行っている。				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル		市立特別養護老人ホームが適正に維持管理されている。	必要な保守点検等を実施する。

指標設定	アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				保守点検や修繕、補修工事の件数			
			単位				単位	%			単位	件
指標種類					減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）					100以内	100以内	100以内	100以内	23	23	23	23
実績					2	79.20			23	30		
達成度					121%				70%			
分析					【実績】受変電設備更新工事 概ね想定通り				指定管理の実施する修繕が増えたことから、想定を上回った(備品の修繕等は除く)			

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,203	1,595	1,571		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	0	0	0		
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	0	0		
		人件費計	1,203	1,595	1,571		
	物件費計		12,293	2,968	29,898	61,296	49%
	歳出計		13,496	4,563	31,469		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		215	0	0	0	
	歳入計		215	879	0	0	
一般財源			13,281	2,089	29,898	61,296	

5. 総括的分析

総括的分析	修繕等に係る経費で積算金額が、30万以上の事案（保全計画含む）は市負担で修繕等が1件、指定管理者負担が14件、他に指定管理者が15件の建築設備等保守管理業務保守点検等を行った。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、指定管理者による運営が適切に行われるよう、施設管理運営状況の確認を行うとともに、利用者が安全に施設を利用できるよう、必要な施設保全や保守点検等を実施していく。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	総合福祉会館デイサービスセンター維持管理事業								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名								

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1998(H10)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市デイサービスセンター条例、介護保険法、老人福祉法				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	総合福祉会館デイサービスセンター利用者			
	サブターゲット	在宅で介護をしている家族			
	ターゲットが抱える課題	安全に利用できる施設への通所により、心身の健康と福祉の増進を図れ、在宅にて介護を継続することができる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	安全に利用できるよう必要な施設保全や保守点検等を実施され、総合福祉会館デイサービスセンター利用者の心身の健康と福祉の増進が図られている状態。				
事業概要	平成18年3月まで枚方市立総合福祉会館デイサービスセンターの運営及び維持管理業務を社会福祉法人四天王寺福祉事業団に委託していた。平成18年4月からは、指定管理者制度を導入し、指定管理者として社会福祉法人四天王寺福祉事業団が管理運営を行っている。				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル		総合福祉会館デイサービスセンターが適正に維持管理されている。	必要な保守点検等を実施する。

指標設定	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明		修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合 【算出式:決算額/当初予算額×100】	保守点検や修繕、補修工事の件数
単位		%	件
指標種類		減少することが良いとされる指標	減少することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）					100以内	100以内	100以内	100以内	2	2	2	2
実績					0	0			1	1		
達成度					0%				50%			
分析					修繕・補修することなく維持管理ができた。				想定していた補修工事の必要もなく、定期点検のみで対応できた。（点検や検査の回数については年間で複数回行うものも1回と数えている）。			

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,603	1,595	1,571		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	0	0	0		
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	0	0		
		人件費計	1,603	1,595	1,571		
	物件費計		2,372	495	3,470	4,225	82%
	歳出計		3,975	2,090	5,041		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	3,470	0	
	歳入計		0	0	3,470	0	
一般財源			3,975	495	0	4,225	

5. 総括的分析

総括的分析	修繕等に係る経費で積算金額が、1件30万以上の事案（保全計画含む）は市が負担で、1件30万未満の事案は指定管理者が負担することになっているが、令和3年度は修繕等はなかった。 総合福祉会館の建築設備等保守管理業務は他の指定管理者が行っており、長寿・介護保険担当所管の総合福祉会館デイサービスセンターの指定管理者は必要に応じ按分で費用負担している。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、指定管理者による運営が適切に行われるよう、施設管理運営状況の確認を行うとともに、利用者が安全に施設を利用できるよう、必要な施設保全や保守点検等を実施していく。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	高齢者お出かけ推進事業								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名	9-2.高齢者の生きがいづくりと外出支援							

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2019(H31)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	高齢者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	高齢者が出かける意欲・体力がない。			
	ターゲットが抱える課題	高齢者が出かける場所、仲間をつくる場がない。			
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	高齢者が外出する機会が増え、健康づくりや介護予防につながる。				
事業概要	65歳以上の市民を対象に『高齢者お出かけ推進手帳』を配付し、高齢者の外出支援につながる事業等に参加した市民に、手帳に貼付する「高齢者専用ポイント」を付与する。手帳に貯めた「高齢者専用ポイント」は、「ひらかたポイント」やタクシークーポン（大阪タクシー共通乗車券）へ交換できるほか、老人福祉センター（総合福祉センター・楽寿荘）の使用料の割引券として活用できる高齢者お出かけ推進チケットに交換できる。				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル	高齢者が外出する機会が増え、健康づくりや介護予防につながる。	高齢者専用ポイントを貯めるため、外出支援につながる事業等に参加する高齢者が増加する。	65歳以上の市民を対象に、「高齢者お出かけ推進手帳」を配付する。

指標設定	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明	高齢者お出かけ推進事業の延べ参加者数	高齢者お出かけ推進事業の付与ポイント数	「高齢者お出かけ推進手帳」の配付部数
単位	人	ポイント	部
指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5
アウトカム 目標（見込み）	101,000	101,000	101,000	101,000
アウトカム 実績	2,557	22,227		
アウトプット 目標（見込み）	1,152,000	1,152,000	1,152,000	1,152,000
アウトプット 実績	82,860	314,300		
インプット 目標（見込み）	10,000	10,000	10,000	10,000
インプット 実績	2,894	1,693		

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
達成度	22%	27%	17%
分析	令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部の対象事業が中止となり、参加者数も見込みより大幅に減った。	令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部の対象事業が中止となったほか、付与対象とならない形で実施したため、ポイント付与数も見込みより大幅に減った。	令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部の対象事業が中止となったほか、令和4年度からは手帳を廃止するため新たな手帳の配布もなく、配布部数が大幅に減った。

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	3,207	1,595	1,571		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	0	0	0		
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	0	0		
		人件費計	3,207	1,595	1,571		
	物件費計		1,280	1,575	1,560	3,129	50%
	歳出計		4,487	3,170	3,131		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			4,487	1,575	1,560	3,120	

5. 総括的分析

総括的分析	令和元年度から事業を開始し、65歳以上の方を対象に「高齢者お出かけ推進手帳」を配布し、介護予防のイベントや各種講座等への参加に対して高齢者専用ポイントを付与。令和2年2月から、高齢者専用ポイントの付与対象事業として「高齢者居場所」を追加。令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、多くの対象事業を中止・延期することとなった。令和3年度も一部の事業が新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止となった。令和4年度から手帳・シールを廃止し、ひらかたポイントの直接付与を行うため、周知等を行った。

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	令和4年度より手帳やシールを廃止し、ひらかたポイントを直接付与する。また、ポイント付与方法の変更に伴い、対象事業の見直しを行う。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	シルバー人材センター事業費補助事業								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名	9-2.高齢者の生きがいづくりと外出支援							

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1980(S55)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市補助金等交付規則				
関係補助金名称	高年齢者能力活用推進事業補助金	サンセット	2019(R1)年度	~	2021(R3)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市シルバー人材センター			
	サブターゲット	枚方市シルバー人材センターの会員			
	ターゲットが抱える課題	シルバー人材センター登録会員の確保、会員の就業率の向上が必要である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	就業の場を通じて、高齢者の生きがいづくりと社会参加が促進される。				
事業概要	枚方市補助金等交付規則に基づき補助金を交付する。 センターの設置目的である高齢者が働くことを通じた生きがいづくり、さらなる地域社会の活性化への貢献につなげていくことを効果的に支援していくため、シルバー人材センターの自主事業に対する経費の一部を補助する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル	高齢者の生きがいづくりや社会参加が促進する。	枚方市シルバー人材センターの取り組みが充実する。	枚方市シルバー人材センターの取り組みを支援するため、補助金を交付する。

指標設定	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明	枚方市シルバー人材センターの各年度末登録会員数	会員の就業率 【算出式: 就業会員数／会員数×100】	補助金交付対象事業数
単位	人	%	事業
指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標（見込み）	2,300	2,350	2,400	2,450	69.50	70	70	70	2	2	2	2
	実績	1,954	1,887			76.90	75.94			2	1		
達成度		80%				108%				50%			
分析		目標値は、シルバー人材センターの中期計画を基に設定。定年の引き上げや継続雇用制度の導入等、働く意欲のある高齢者が継続して働くことが可能となったことから、実績が下回ったと考える。				令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症による清掃作業(学校、マンション、商業施設など)の需要があったことから、実績が上回ったと考えられる。				対象事業:幅広い世代の居場所づくり事業 対象事業としては1件になったが、新型コロナウイルス感染症の影響により予定していた内容を行えなかったことから、少人数で行えるスマホ教室を新たに実施した。			

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	0.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,603	2,393	2,357		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	0	0	0		
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	0	0		
		人件費計	1,603	2,393	2,357		
	物件費計		5,065	4,147	2,503	3,680	68%
	歳出計		6,668	6,540	4,860		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			6,668	4,147	2,503	3,680	

5. 総括的分析

総括的分析	「補助金の見直しに関する方針」に基づく団体運営補助の廃止により、令和元年度から事業費補助となった。高齢者の知識や技能を活かしたこれらの事業を通して、センターの設置目的である高齢者が働くことを通じた生きがいづくり、さらなる地域社会の活性化への貢献につなげていくことを効果的に支援していくため、経費の一部について補助を行うものである。令和3年度は「幅広い世代の居場所づくり事業」を実施したが、新型コロナウイルス感染症拡大により事業を中止せざるを得ない状況となったため、少人数で行えるスマホ教室を行った。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き補助事業の進捗管理を行うとともに、適宜効果検証を行っていく。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	楽寿荘維持管理事業								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名								

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2000(H12)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	老人福祉法第20条の7、枚方市立老人福祉センター楽寿荘条例				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	楽寿荘利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	楽寿荘を利用する利用者が、安全・快適に利用できるよう必要な施設保全や保守点検等を実施する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	楽寿荘利用者が、施設を安心して安全快適に利用することができ、心身の健康と福祉の増進を図っている。				
事業概要	【施設概要】老人福祉法第20条の7に規定する老人福祉センター。 施設を市民活動の場として提供するとともに、主に高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーション等の事業を行う。 施設の管理は、直営で実施しており、受付業務、屋外清掃等業務はシルバー人材センターに委託。利用時間は、午前10時から午後8時30分（毎週木曜日及び年末年始は休館）。老朽化による改修工事のため、平成22年8月31日より一時休館。23年4月1日にリニューアルオープン。				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル		楽寿荘が適正に維持管理されている。	必要な保守点検等を実施する。

指標設定	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明		修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合 【決算額:決算額/当初予算額×100】	保守点検や修繕、補修工事の件数
単位		%	件
指標種類		減少することが良いとされる指標	減少することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）					100以内	100以内	100以内	100以内	13	11	11	12
実績					24.59	143.15			8	9		
達成度					57%				118%			
分析					修繕料:当初予算400,000円、決算574,013円 工事請負費:当初予算1,000円、決算0円 保全計画による照明器具のLED化(18基)の他に、蛇口やBSアンテナ等の修繕を行ったため、想定を上回った。				委託による保守点検5件、小規模修繕4件			

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	1.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	4,417	8,073	8,342		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	0	0	0		
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	0	0		
		人件費計	4,417	8,073	8,342		
	物件費計		15,339	12,996	12,743	13,946	93%
	歳出計		19,756	21,069	21,085		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		1,905	615	1,077	2,147	
	市債		0	0	0	0	
	その他		313	42	549	491	
	歳入計		2,218	1,172	1,626	2,638	
一般財源			17,538	11,824	11,117	11,069	

5. 総括的分析

総括的分析	照明器具のLED化や掃除用流し蛇口、衛星放送BSアンテナ等の修繕を行った。 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4/26～6/20は貸室利用不可とした。また、4/26～6/20・8/2～9/30は閉館時間を20時30分から20時に短縮したなか、楽寿荘教養講座（ハーモニカ、オカリナ、書道など12講座）の年間延べ利用者数は12,344人で、前年から増加した。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、利用者が、安全・快適に施設を利用できるよう必要な施設保全や保守点検等を実施するとともに、施設の一層の利用促進に向けた取組みを検討していく。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	敬老事業								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部		課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1968(S43)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					

事業対象		
	メインターゲット	高齢者
	サブターゲット	高齢者福祉に関心と理解が少ない市民
	ターゲットが抱える課題	高齢者向けのイベントが少なく、日ごろの楽しみや生きがいを創出する機会が必要。
	ターゲットが抱える課題	高齢者を敬愛し、長寿を祝うことにより、市民が広く高齢者福祉に関心と理解を深める機会が必要。

めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	市民が広く高齢者福祉に関心と理解を深めるとともに、高齢者自ら、生きがいをもって生活できるよう高い意欲を持っている状態。
事業概要	毎年9月を高齢者保健福祉月間として啓発イベント等を開催する。 ①「敬老のつどい」を開催 一部：高齢社会憲章朗読、優良老人クラブ・優良ひとり暮らし老人会の表彰、高齢者保健福祉月間啓発標語の特選作品の発表と表彰等 二部：プロによるアトラクション（アトラクションは委託） ②長寿祝品の配付　満年齢で米寿（88歳）の方に長寿をお祝いする記念品を届ける。 ③最高齢者、100歳高齢者祝福事業　最高齢者と満100歳の高齢者に記念品を贈呈（最高齢者（男女）は市長が訪問） ④高齢者保健福祉月間啓発標語の募集　市民に呼びかけて標語を募集し特選・入選作品を決定し、賞状・記念品を贈呈するとともに、敬老のつどいで発表

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
	市民の高齢者福祉に対する関心と理解、また、高齢者の生きがいや意欲の向上が図られる。	多くの市民が高齢者福祉に関心を持つ。	「敬老のつどい」を開催する。

指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明	「敬老のつどい」参加者の満足度 【算出式：「満足」と回答した人数／回答人数×100】	「敬老のつどい」の参加者数	「敬老のつどい」など敬老事業の広報等による周知回数
単位	%	人	回
指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）	93	93	93	93	320	320	320	320	13	13	13	13
実績	0	0			0	9			13	13		
達成度	0%				3%				100%			
分析	令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、表彰式のみ実施としたため、満足度を図ることができなかった。				令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、表彰式のみ実施し、参加者は被表彰者のみとした。				想定通りであった。			

ロジックモデル②	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
	市民の高齢者福祉に対する関心と理解、また、高齢者の生きがいや意欲の向上が図られる。	高齢者自らの生活の向上に努める意欲が高まる。	満年齢で米寿（88歳）の方と100歳を迎える方に長寿をお祝いする記念品を届ける。また、最高齢者（男女）を市長が訪問し、祝品を贈呈する。

指標設定②

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
指標説明	「敬老のつどい」参加者の満足度 【算出式：「満足」と回答した人数／回答人数×100】	米寿祝品の配付人数及び、最高齢者と100歳高齢者祝福事業の人数	「米寿祝品の配付」及び「100歳高齢者祝福事業」など敬老事業の広報等による周知回数
単位	%	人	回
指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標

指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）	93	93	93	93	2,059	2,291	2,597	3,050	13	13	13	13
実績	0	0			1,912	2,011			13	13		
達成度	0%				88%				0%			
分析	令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、表彰式のみ実施としたため、満足度を図ることができなかった。				想定よりも対象者が（死亡や転出により）減少した。				想定通りであった。			

ロジックモデル③	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
	市民の高齢者福祉に対する関心と理解、また、高齢者の生きがいや意欲の向上が図られる。	応募作品の中から特選・入選作品を決定し、賞状・記念品を贈呈するとともに、敬老のつどいで発表する。	高齢者保健福祉月間啓発標語を募集する。

指標設定③		アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明		「敬老のつどい」参加者の満足度 【算出式:「満足」と回答した人数／回答人数×100】				高齢者保健福祉月間啓発標語の応募件数				「高齢者保健福祉月間啓発標語の募集」など敬老事業の広報等による周知回数			
				単位	%			単位	件			単位	回
指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標（見込	93	93	93	93	36	36	36	36	13	13	13	13
	実績	0	0			17	17			13	13		
達成度		0%				47%				100%			
分析		令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、表彰式のみ実施としたため、満足度を図ることができなかった。				新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで行っていた周知の一部ができなかったため、件数が減少したと考えられる。				想定通りであった。			

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	6,414	3,190	3,143		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	0	0	0		
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	0	0		
		人件費計	6,414	3,190	3,143		
	物件費計		3,945	2,299	2,781	5,144	82%
	歳出計		10,359	5,489	5,924		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			10,359	2,299	2,781	5,144	

5. 総括的分析

総括的分析	①「敬老のつどい」 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、表彰式のみを実施。 ②長寿祝の配付 満年齢で米寿（88歳）の方1,904人に記念品（飯碗）を送付。 ③最高齢者、100歳高齢者祝福事業 最高齢者（男女）を訪問し花束と記念品を贈呈。100歳を迎える方105人にお祝い電報を送付。 ④高齢者保健福祉月間啓発標語の募集 17作品の応募があり、特選1作品、入選2作品を選定。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	令和4年度は通常通りアトラクションも含めた「敬老のつどい」を実施。その他の事業については令和3年度と同様の手法により実施予定。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	枚方市シルバー作業所維持管理事業								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名								

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1993(H5)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市シルバー作業所利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	枚方市シルバー作業所の利用者が、安全・快適に利用できるよう必要な施設保全や保守点検等を実施する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	枚方市シルバー作業所利用者が、施設を安心して安全快適に利用することができ、心身の健康と福祉の増進を図っている。				
事業概要	【施設概要】高齢者に就業の拠点を提供し、高齢者の生きがいを高めるとともに、その能力をいかした活力ある地域社会作りに寄与することを目的とした施設。 施設設備の維持管理のため、各種保守点検業務等を委託により実施している。				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル		枚方シルバー作業所が適正に維持管理されている。	必要な保守点検等を実施する。

指標設定	アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				保守点検や修繕、補修工事の件数。			
			単位				単位	%			単位	件
指標種類					減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）					100以内	100以内	100以内	100以内	12	17	11	11
実績					66.30	111.09			10	11		
達成度					89%				135%			
分析					【実績】小規模修繕2件 若干上回ったが、概ね想定通り。				【実績】保守点検等委託9件、小規模修繕2件の合計11件であった。			

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	0.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	3,207	2,393	2,357		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	0	0	0		
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	0	0		
		人件費計	3,207	2,393	2,357		
	物件費計		5,908	14,382	5,296	5,965	89%
	歳出計		9,115	16,775	7,653		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		439	462	0	1	
	歳入計		439	462	0	0	
一般財源			8,676	13,920	5,296	5,954	

5. 総括的分析

総括的分析	施設の老朽化に伴う修繕箇所の発生のため、小規模修繕を複数回行うこととなり、事業費が当初予算額を少し上回った。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き施設整備の維持管理を適正に行う。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	老人クラブ育成補助事業								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部			課	長寿・介護保険課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名	9-2.高齢者の生きがいづくりと外出支援							

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1963(S38)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市老人クラブ等活動事業等補助金交付要綱				
関係補助金名称	老人クラブ活動補助金、老人クラブ連合会事務費補助	サンセット	2020(R2)年度	~	2022(R4)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	各単位老人クラブ、老人クラブ連合会、ひとり暮らし老人会			
	サブターゲット	各単位老人クラブ、老人クラブ連合会、ひとり暮らし老人会に加入している高齢者			
	ターゲットが抱える課題	老人クラブ会員数が減少している。住み慣れた地域でいきいきと暮らし、人とのつながりをもつことができる場の確保が必要。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	より多くの高齢者が老人クラブ等の社会奉仕や健康増進等の諸活動に参加することで、住み慣れた地域で健全で豊かな生活を送ることができている。				
事業概要	各単位老人クラブ、老人クラブ連合会、ひとり暮らし老人会連絡会からの活動補助金申請等、老人クラブ連合会事務経費補助金申請等を受け、活動予定月数、会員数等に応じた補助金を交付し、年度末に各実績報告を受け、精算等を行う。また、国に対し補助金申請を行い補助金交付を受ける。				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル	多くの高齢者が、住み慣れた地域で健全で豊かな生活を送ることができる。	老人クラブ、老人クラブ連合会、ひとり暮らし老人会連絡会が、社会奉仕や健康増進等の諸活動を実施する。	老人クラブ、老人クラブ連合会、ひとり暮らし老人会連絡会の取り組みを支援するため、補助金を交付する。

指標設定	アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明	補助金交付申請時の老人クラブ会員数				老人クラブ等が行った社会奉仕や健康増進等の活動月数				補助金の交付件数			
			単位	人			単位	月			単位	件
指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）	12,621	12,621	12,621	12,621	2,604	2,604	2,604	2,604	217	217	217	217
実績	11,670	10,758			2,554	2,340			213	196		
達成度	85%				90%				90%			
分析	85%と高い達成度ではあるものの、高齢者人口の増加と対比すると減少傾向にある。				補助金交付申請を行う老人クラブ数自体が17件減少したことによるもの。なお、令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動を中止した月数も含む数値となる。				新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が制限されていたため、交付件数も減少となった。			

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	0.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	2,405	2,393	2,357		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	0	0	0		
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	0	0		
		人件費計	2,405	2,393	2,357		
	物件費計		22,933	21,168	20,475	23,734	86%
	歳出計		25,338	23,561	22,832		
歳入	国庫支出金		7,123	6,944	6,525	7,348	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		7,123	6,944	6,525	7,348	
一般財源			18,215	14,224	13,950	16,386	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響が続く中でも10,000人以上の会員数を保っているが、高齢者人口の増加に対比すると会員数は減少していることから、引き続き取り組みを続けていく必要がある。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、老人クラブ、老人クラブ連合会、ひとり暮らし老人会連絡会の取り組みを支援するため、補助金を交付する。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	「新しい生活様式」に係る高齢者のICT利用促進事業								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部		課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち							
	実行計画名								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	R3年度(2021年度)	年度	～	R3年度(2021年度)	年度まで
根拠法令等					
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	通信機器を保有していない高齢者 いわゆるガラケーのみを保有している高齢者
	サブターゲット	スマートフォン等を保有しているが、十分に活用できていない高齢者
	ターゲットが抱える課題	ICTが利用できないため、新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」を実践することができない
	ターゲットが抱える課題	
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	高齢者がスマートフォン等を活用し、「新しい生活様式」を実践しながらいきいきと暮らせる	
事業概要	通信事業者の協力のもと、通信機器を保有していない高齢者や、いわゆるガラケーのみを保有している高齢者をモニターとして、スマートフォン等を購入する際、本市アプリのダウンロード等をサポート。 購入時のアンケート、モニター期間終了時のアンケートへの回答でひらかたポイントを付与し、実際の利用を促進。 あわせて、スマートフォンを保有しているが、十分に使いこなせていない高齢者を含め、幅広くサポート体制を構築。	

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル	高齢者がスマートフォン等を活用し、「新しい生活様式」を実践しながらいきいきと暮らせる。	アプリを活用し、ひらかたポイントを獲得することなどを通じて、スマートフォン等の操作に慣れる。	通信機器を保有していない高齢者や、いわゆるガラケーのみを保有している高齢者が通信事業者のサポートを受け、本市アプリ等をダウンロードする。

指標設定	アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明	モニター期間終了時のLINE公式アカウントの登録者数(モニター期間開始前との差)				付与したひらかたポイント				高齢者モニター協力者数			
単位	人				pt				人			
指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）	－	1,000	－	－	－	3,000,000	－	－	－	1,000	－	－
実績	－	616	－	－	－	1,382,000	－	－	－	616	－	－
達成度	62%				46%				62%			
分析	新型コロナウイルス感染症拡大による外出控え等の影響により、想定を下回った。				新型コロナウイルス感染症拡大による外出控え等の影響により、想定を下回った。				新型コロナウイルス感染症拡大による外出控え等の影響により、想定を下回った。			

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	0.35
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

4. 決算額

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	―	―	2,750		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	―	―	0		
		特別職非常勤	―	―	0		
		附属機関委員	―	―	0		
		人件費計	―	―	2,750		
	物件費計		―	―	1,389	15,030	9%
	歳出計		―	―	4,139		
歳入	国庫支出金		―	―	0	0	
	府支出金		―	―	0	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		―	―	0	0	
	市債		―	―	0	0	
	その他		―	―	0	0	
	歳入計		―	―	0	0	
一般財源			―	―	1,389	15,030	

5. 総括的分析

総括的分析	令和2年度に通信機器の利用に関するアンケート調査を実施したところ、回答者の約33%がスマホへの買い替えまたは新規購入する意向を示していた。しかし、実際には新型コロナウイルス感染症拡大による外出控え等の影響により、目標数値に達することはできなかった。

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	今後もスマホ教室を継続しつつ、新たな取組みについて検討する。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	福祉バス運行委託事業								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部		課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標	10.障害者が自立し、社会参加ができるまち							
	実行計画名								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2004(H16)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	リフト付きバス利用要綱				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	福祉バスを利用する団体に加入している障害者や高齢者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	外出するための費用が負担となり、障害者や高齢者の外出する手段、機会が減少している。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	障害者や高齢者が福祉バスを利用することで、外出や社会参加の機会が増え、健やかに生きがいを持って暮らすことができている。				
事業概要	総合福祉センターの送迎に供しない日を、福祉バスとして利用している。 1. 福祉バス運行日　金曜日、日曜日 2. 送迎バス運行日　火曜日、木曜日				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル	障害者や高齢者の外出や社会参加が増える。	福祉バスが運行される。	福祉バスの運行を委託する。

指標設定	アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明	福祉バスの延べ利用者数				福祉バスの利用実績件数				福祉バスの運行可能日数			
			単位	人			単位	件			単位	日
指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）	2,340	2,340	2,340	2,340	90	90	90	90	100	100	100	100
実績	0	0			0	0			18	9		
達成度	0%				0%				9%			
分析	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ほぼ全ての期間において、利用を中止しており、利用実績はなかった。				新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ほぼ全ての期間において、利用を中止しており、利用実績はなかった。				新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ほぼ全ての期間において、利用を中止していた。			

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	802	798	786		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	0	0	0		
		特別職非常勤	―	0	0		
		附属機関委員	―	0	0		
		人件費計	802	798	786		
	物件費計		10,497	13,585	12,375	14,300	87%
	歳出計		11,299	14,383	13,161		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料・手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			11,299	13,585	12,375	14,300	

5. 総括的分析

総括的分析	令和3年度は1団体の利用回数を年1回に減らした。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年12月17日から令和4年1月21日までを除き、利用を中止していた。令和3年12月17日から令和4年1月21日までについても、実際の運行はなかった。

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	引き続き、障害者や高齢者へ外出の機会を提供するため事業は継続するが、バスの老朽化により令和5年度以降の運行ができないため、実施方法について検討する。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	長寿・介護保険課運営事務								
測定年度	2021(R3)年度		部	健康福祉部		課	長寿・介護保険課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標	9.施策体系外							
	施策目標	99.施策体系外							
	実行計画名								

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	2020(R2)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	課職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿（課題が解決した状態）	長寿・介護保険担当所管事務の適正かつ効率的な執行を図る。				
事業概要	課の運営業務				

2. ロジックモデル及び指標設定

	アウトカム（活動効果）	アウトプット（活動結果）	インプット（活動）
ロジックモデル			

指標設定	アウトカム（活動効果）				アウトプット（活動結果）				インプット（活動）			
指標説明			単位				単位				単位	
指標種類												
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標（見込み）												
実績												
達成度												
分析												

3. 人員体制

（人）

	R3
正職員（再任用）	3.77
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。

（千円）

			R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	ー	30,146	29,621		
		会計年度任用職員（時間外、交通費等含む）	ー	0	0		
		特別職非常勤	ー	0	0		
		附属機関委員	ー	0	0		
		人件費計	ー	30,146	29,621		
	物件費計		ー	956,327	1,187,564	1,206,426	99%
	歳出計		ー	986,473	1,217,185		
歳入	国庫支出金		ー	37,153	0	20	
	府支出金		ー	11,817	34,786	39,441	
	受益者負担（使用料・手数料）		ー	0	0	0	
	市債		ー	0	0	0	
	その他		ー	825,328	1,129,468	1,132,182	
	歳入計		ー	873,178	1,164,254	1,171,643	
一般財源			ー	83,149	23,310	34,783	

5. 総括的分析

総括的分析	令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症に係る、介護サービス事業所等に対するサービス提供体制確保事業補助金及び、高齢者・障害者施設の従事者への定期PCR検査等の実施などに係る事務が発生した。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き課の所管事務の適正かつ効率的な執行を図る。